

岡部恒司 平成23年4月 第1回臨時議会報告

仙台市議会 活動レポート



発行人/岡部恒司
〒981-0933
仙台市青葉区柏木 2-4-16-501
電話 022-271-1770
<http://okabeoji-sandai.jimusho.jp/>

平成23年第1回臨時議会報告

〔災害復興方針・補正予算審議〕

仙台市議会議員 岡部恒司

こんにちは岡部です。日頃よりご支援及び仙台市制へのご協力に感謝申し上げます。

まずは、3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震及び津波災害でお亡くなりなられた皆様に心より哀悼の意を表します。また、被災された皆様へ心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の復興に取り組んでいらっしゃる関係者の方々へ厚く御礼申し上げます。

今回の仙台市議会レポートは、4月21日・22日に開会された平成23年第1回臨時議会報告です。今議会は大地震により被災された皆様への災害復興の方針をいち早く示し、そのための補正予算を審議する議会です。所属会派「新しい翼」の代表質問の質疑とその答弁の一部を要約したものです。裏面には可決された補正予算の一部も掲載も掲載しております。是非一読いただき、皆様のご意見を賜りたいと考えております。

被災者の生活の再建、復興に向けた取り組みはまだこれからですが、今こそ、地域のきずなを深め、助け合ってこの難局を乗り切っていきたいと思います。私もそのために全力で取り組んでいく決意です。



若林区荒浜 (岡部撮影)

生活環境の回復(USJ)

復興災害復興基本方針を策定し、本格的復興に向けて踏み出すが、まずは日常生活を送れる環境整備を急ぐと共に避難者や被災者の心に寄り添った対応が肝要だ。安心感ある落ち着いた生活環境づくりの諸課題についてどう取り組んでいくか伺う。

養育困難な状況にある方々が一日も早く生活再建に向けたスタートラインに立てるように、応急仮設住宅の提供を急ぎ、被災地のがれきの早期撤去に向けて鋭意取り組んでいく。その上で、暮らしの安心を支える医療・福祉のサービスの水準回復や、スポーツ・文化に関わる都市活動を活性化させていきたい。

市立学校については、引き



あすと長町仮設住宅

続き施設の修繕を進めるとともに、心のケアにも取り組んで、ハード・ソフト両面から環境を整えていく。

仮設住宅(USJ)

復興被災者ニーズを把握し供給を急ぐ必要がある。供給内容と、そのうちプレハブ住宅について、どんな計画・スケジュールで建設するのか。審議仮設住宅数は4000戸を想定し、内プレハブ住宅や公営住宅等の活用で1500戸を供給していく。

地域は、あすと長町、仙台港背後地、荒井土地区画整理事業地内に加え、宮城野区の鶴巻一丁目東公園をはじめとする4つの公園、若林区でのニッペリア多目的広場を果に確保していく。

プレハブ住宅への住まい支援(USJ)

復興プレハブ住宅は10世帯以上のグループ、コミュニティ単位で申込み抽選とされているが、中では世帯単位の申込みを認めるべきと思うがいかがか。

審議期間でグループをつくるのが難しいと言った意見もあった。今後の募集においては、コミュニティ単位の申込みを原則としながら、世帯単位の申込みも可能とする方向で検討する。

復興障害者通所施設や高齢者介護施設等が被災している。

障害者個々のニーズに合わせた状況改善策及び入居高齢者の心身安定等の支援を急ぎ、再建に向け取り組むべき。審議今回の震災で津波により消失した施設や大規模に損壊して使用困難な施設が6ヶ所ある。利用者から以前と同じサービスを受けられるように本市施設を一時的に使用していただくなどの支援を行ってきた。今後とも市有物件の確保など、新たな活動場所の確保に努めたい。

施設本体の災害復旧に当たって、既存の枠組みにとらわれない柔軟かつ十分な財政措置を講じるように働きかけ、全力を挙げて施設の再建を支援する。

経済対策と雇用対策について(USJ)

復興多くの企業が事業継続もままならず、従業員の雇用にも重大な事態を招きかねない。復興に向け地域経済の立て直しには猶予はない。経済対策と雇用対策をどう取組んでいくのか。

審議一日も早い復興を進めるためには、地域経済の再生を図ることが重要であると認識しており、そのため、若年層や離職を余儀なくされた被災者向けの雇用対策を当面の重点としていく。

被災と位置付け、きめ細かな支援策を積極的に展開し、当面、1330名程度の雇用創出を目指し、中小企業の経営再建に向けニーズに即した支援を実施する。

観光関連産業や商店街の振興にも力を注ぐ。加えて、甚大な被害を受けた東部地域における農地の再生や農林水産業の早期復興を図り、安心・安全な食料生産の確保に努める。

農地再生と農業従事者の雇用、生活維持(USJ)

復興東部沿岸地域の被害は甚大だ。地域の安全安心に配慮しながら、農業者との協議のもと農地再生に取り組むとともに、生活維持のため、復興事業に際し雇用結びつける方が必要と思うがいかがか。審議農業者の方々のご意見、ご要望をしっかりと聴かせたい。また、これまで以上に、豊かな農業生産の拠点としての再生を目指していく。

雇用対策においても緊急雇用創出事業及び災害復旧事業を早期に実施し、5月頃から順次雇用し、関係団体との連携を図りながら、更なる雇用創出に取り組んでいく。



若林区荒浜 (岡部撮影)

復興計画の策定について(USJ)

復興市の復興計画を早急に策定し、市民に示し、市民力と相俟って推進していくかなければならない。震災後の都市づくりに基本的構想をどのように考え、取組むのか。審議東北地域の復興が、日本の未来に希望をつなぐ礎となるの思いのもとに、杜都の環境先進性を生かした新しい次元の防災・環境都市を再構築していきたいと考えている。東部地域や丘陵地域の再生への道筋を見出し、経済面においても農業の復興や地域の経済・雇用の再生が重要なテーマである。

9810933

岡部恒司 行

仙台市青葉区柏木2丁目4番16号 501

仙台市議会議員

お電話の受付は、5月14日より開始いたします。

災害復興基金設立について

被災者の住宅再建復興支援や生活安定、自立支援の為に、公的資金では困難な支援を行うためのスキームで、本市で設立に向けて取組むべきか、という意見が、復興基金・淡路大震災の際の震災復興基金は国の支援を最大限活用した有効な手段であったと承知している。国の動向を注視しつつ、県とも十分に情報を共有し、検討を重ねていきたい。

復興事業への地元企業活用について

復興公共工事などの復旧工事は、適正価格で地元発注する事が企業活力を生み、雇用維持にも繋がる。復興に向けた事業には地元企業を積極的に活用すべきと思うが、いかがか。

復興基金の設立による災害復旧工事につきましては、迅速な対応を図るため、随意契約あるいは指名競争入札によることを方針とし、地元企業に優先的に発注することとしている。

財政状況について

震災による経済活動の停滞、低迷、市民所得への影響等、市税等収入は大幅減だ。今後の財政状況をどう捉えているのか。また市政運営への影響は。

復興基金の設立による被災者の住宅再建復興支援や生活安定、自立支援の為に、公的資金では困難な支援を行うためのスキームで、本市で設立に向けて取組むべきか、という意見が、復興基金・淡路大震災の際の震災復興基金は国の支援を最大限活用した有効な手段であったと承知している。国の動向を注視しつつ、県とも十分に情報を共有し、検討を重ねていきたい。

被災者の見直しについて

震災後23年度当初予算を可決したが、被災者生活支援や公共施設等の広範囲に亘る災害復旧、復興に新たな財政需要が見込まれ、当初予算は大規模な見直しが必要となってくる。

このような観点から、現時点で約300事業、総額として177億円の予算を執行停止している。これらの財源は震災対策として必要な補正予算編成の際活用してまいりたい。

復興基金の設立による被災者の住宅再建復興支援や生活安定、自立支援の為に、公的資金では困難な支援を行うためのスキームで、本市で設立に向けて取組むべきか、という意見が、復興基金・淡路大震災の際の震災復興基金は国の支援を最大限活用した有効な手段であったと承知している。国の動向を注視しつつ、県とも十分に情報を共有し、検討を重ねていきたい。

国・県への働きかけについて

復興基金の設立による被災者の住宅再建復興支援や生活安定、自立支援の為に、公的資金では困難な支援を行うためのスキームで、本市で設立に向けて取組むべきか、という意見が、復興基金・淡路大震災の際の震災復興基金は国の支援を最大限活用した有効な手段であったと承知している。国の動向を注視しつつ、県とも十分に情報を共有し、検討を重ねていきたい。

復興基金の設立による被災者の住宅再建復興支援や生活安定、自立支援の為に、公的資金では困難な支援を行うためのスキームで、本市で設立に向けて取組むべきか、という意見が、復興基金・淡路大震災の際の震災復興基金は国の支援を最大限活用した有効な手段であったと承知している。国の動向を注視しつつ、県とも十分に情報を共有し、検討を重ねていきたい。



東北地方太平洋沖地震
早期復興を!!

全力投球
山津波被害対策!
(青葉区高野原地区など)
新しい農地の再構築!

被災地再建 (国部撮影)

みなさんの声で住みやすい仙台を

市政に関するご意見・地域のお困り事がございましたら
お気軽にお知らせください。

●復旧・復興に対してのご意見を一言お願いいたします

仙台市議会議員 **岡部 恒司**

お電話でもご協力をいただければ幸いです

連絡先 TEL 022(271)1770
※日時より夜10時までの時間帯でお願いします。

FAX 022(271)1786

災害復旧費①		災害復旧費②	
項目	事業費	項目	事業費
■一般災害復旧費	1億円	高等学校5校	2億3855万円
■農地災害復旧費	5億円	仙台青陵中等高等学校	3020万円
水路31ヶ所	1億8912万円	鶴谷特別支援学校	1010万円
農道23ヶ所	8651万円	学校給食センター6ヶ所	5億3000万円
ため池25ヶ所	1億7430万円	教育センター	700万円
災害箇所の調査・測量等	1億7万円	仙台メディアテーク	1億1500万円
■土木施設災害復旧費	59億9600万円	天文台	9200万円
市営住宅用地	4億1900万円	博物館	2300万円
道路774ヶ所	41億1800万円	科学館	9300万円
自転車等駐輪場15ヶ所	1500万円	歴史民族資料館	1100万円
構りょう49ヶ所	4億9200万円	震災遺跡保存館	1000万円
公園40ヶ所	9億5200万円	縄文の森広場	100万円
■災害廃棄物処理費	38億円	文化財収蔵庫2ヶ所	400万円
農地等	10億円	宗匠少年自然の家	300万円
道路	28億円	宗匠書館	1億2900万円
■社会福祉施設災害復旧費	4億200万円	宮城特別書館	1500万円
寮社会福祉センター	824万円	太白図書館	100万円
福祉プラザ	700万円	■庁舎等災害復旧費	9億900万円
障害者福祉施設12ヶ所	2276万円	仙台国際センター	9500万円
シルバーセンター	9700万円	市民会館	2000万円
老人福祉センター6ヶ所	600万円	震災復興記念館	2000万円
児童館28ヶ所	7100万円	泉文化創造センター	1億万円
子育てふれあいプラザ2ヶ所	5000万円	広瀬文化センター	2000万円
公立保育園48ヶ所	7200万円	若林区文化センター	3500万円
私立保育園	7300万円	太白区文化センター	1億5000万円
■環境施設災害復旧費	5億6800万円	仙台市体育館	2億円
松浜資源化センター	1100万円	青葉体育館	1000万円
若林環境事業所	300万円	泉体育館・武道館	2000万円
今家工場	700万円	宮城野球場	1000万円
葛岡リサイクルプラザ	500万円	仙台文学館	2500万円
堆肥化センター	4600万円	青年文化センター	4400万円
南蒲生し尿処理施設	4億9600万円	ユネスコ会館	500万円
■消防施設災害復旧費	1億6300万円	郷司公園	1300万円
消防署庁舎24ヶ所	1億2300万円	衛生研究所	2000万円
通信システム整備	4000万円	情報・産業プラザ	2300万円
■教育施設災害復旧費	89億1500万円	せんい・秋保文化の里センター	574万円
市民センター7ヶ所	1億3400万円	秋保工芸の里	52万円
幼稚園2園	1000万円	陸奥野	6504万円
小学校122校	42億2794万円	作並観光交流センター	70万円
中学校63校	32億3921万円		

アンケートにご協力お願いします!
みなさんの声をお聞かせください!

右記のURLにて、市政に関するご意見・地域のお困り事ご意見を記入し取り返して、表紙に50円切手を貼付し投函ください。アンケートと一緒に良い山台を目標として、地域の声も市政に反映させていただきます。どうかよろしくお願いたします。

ホームページ開設しました。 <http://okabekoji-sendai.jimusho.jp/>

ホームページからもご意見を投稿することができます。一度ご覧ください。